

## 石巻市の震災がれきを堤防復旧工事へ有効活用

～石巻市・宮城県・北上川下流河川事務所が連携～

東日本大震災の被災地周辺地域では、復旧復興事業の本格化に伴い資材の需要が増大しており、北上川下流河川事務所で行われている河川堤防の復旧工事に必要となる土砂の確保も課題となって参ります。

一方、被災地では震災がれきの処理を進めていますが、その有効利用が課題となっています。こうした中、石巻市・宮城県・北上川下流河川事務所が連携して活用を検討した結果、震災がれきの一部を地盤改良の代用資材として活用することが可能となりました。

この度、震災がれきの一部を活用した河川堤防の地盤改良工事の現場説明会を報道機関を対象に下記のとおり開催しますのでお知らせします。

《河川堤防復旧工事に活用する震災がれき ⇒ 約1万m<sup>3</sup>》

○震災がれきのうち津波堆積土砂（洗浄後の砂）を地盤改良工事に活用

※今回活用する震災がれき（津波堆積土砂）については、環境省通知に基づき安全性が確認されたものを活用します。

### 《現地説明会》

1. 日 時：平成25年4月25日（木） 10時15分から11時30分
2. 説明内容：北上川月浜地区（石巻市北上町）にて活用状況を説明
3. 集合場所：北上川月浜地区（石巻市北上町）・・・別紙参照
4. 集合時間：平成25年4月25日（木） 10時00分

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。

ホームページアドレス【 [http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index\\_2.html](http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index_2.html) 】

発表記者会：東北専門記者会、石巻記者クラブ、古川記者クラブ

### 問い合わせ先

石巻市	生活環境部 災害廃棄物対策課	鎌田, 星 (内線6306)
	TEL 0225-95-1111	
宮城県	環境生活部 震災廃棄物対策課 石巻事務所	遠藤, 佐山 (内線255)
	TEL 0225-95-1411	
国土交通省	東北地方整備局 北上川下流河川事務所	
	技術副所長	本田 英則 (内線204)
	工務第三課長	鈴木 浩 (内線381)
	TEL 0225-95-0194 (代表)	



# 震災がれきの有効活用

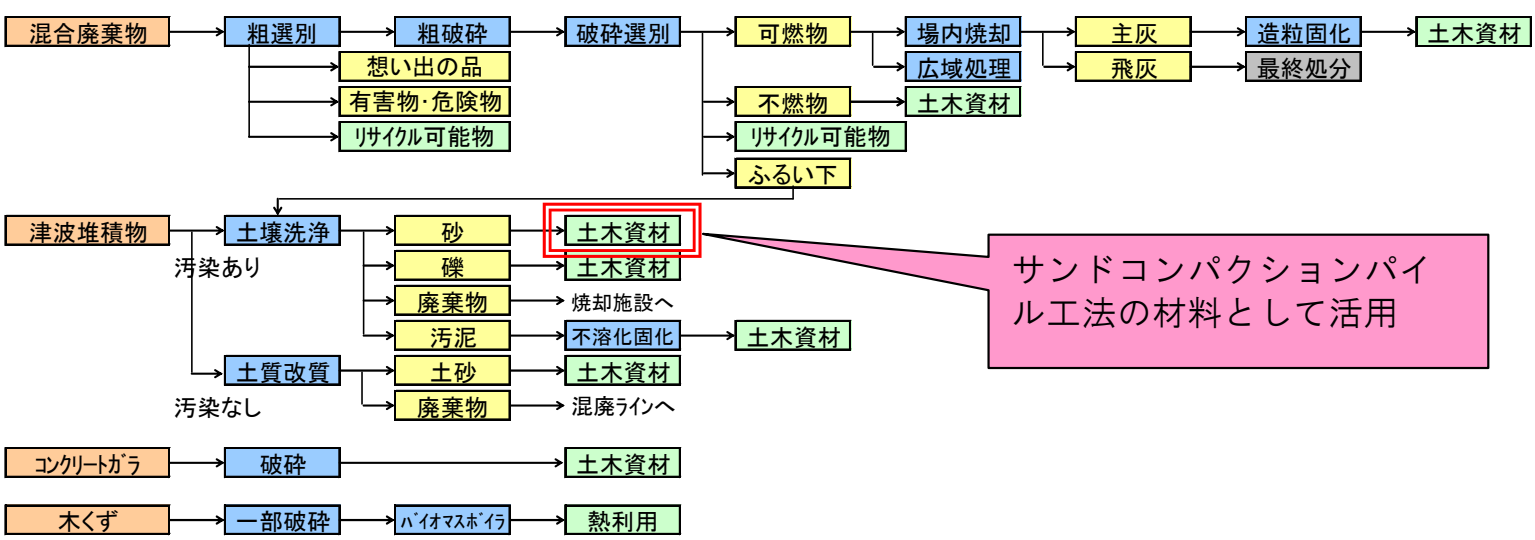
北上川下流河川事務所では、北上川河口部において東日本大震災により甚大な被害を受けた河川堤防の復旧工事に本格着手しております。

河川堤防の復旧区間は約18kmにわたり、平成27年度完成を目標に工事を進めております。

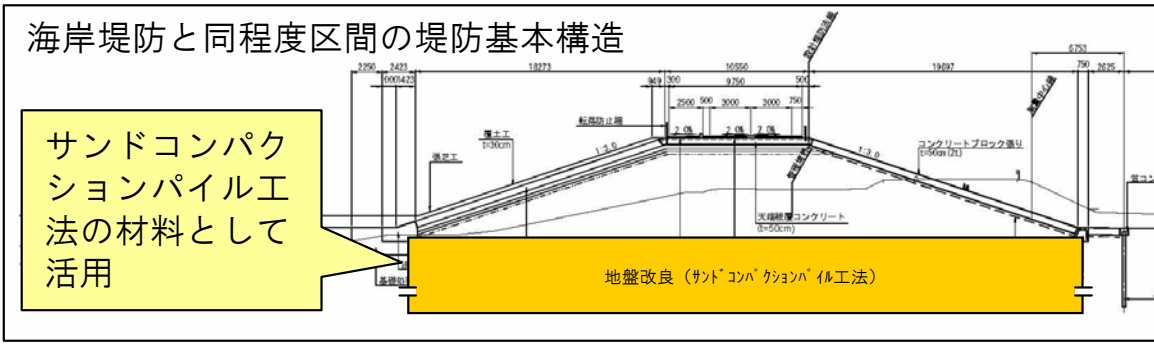
河川堤防の復旧は、北上川河口部地域（旧北上町、旧河北町）における、被災地復興の第一歩となる事業であり、市の復興計画や、沿川で進められている震災廃棄物処理事業等と連携、調整を行いながら進めております。

震災がれきについては、河口部の築堤に伴う地盤対策（サンドコンパクションパイル工法）に活用します。

## 石巻ブロック災害廃棄物等処理フロー



サンドコンパクションパイル工法の材料として活用



サンドコンパクションパイル工法の材料として活用

**■地盤対策**  
(サンドコンパクションパイル工法)

砂杭造成後のイメージ

※活用にあたっては、石巻市、宮城県の協力のもと、試験施工を実施するなどし、サンドコンパクションパイル工法の材料としての適性を確認しております。